

# ESDに関するユネスコ世界会議（岡山市）開催への支援

岡山河川事務所

## ～サイドイベントにブース出展、旭川上流域でのエクスカーションに参加しました～

11月6日～9日にかけて岡山市で開催された、「ESDに関するユネスコ世界会議」において、国土交通省としてサイドイベントに参加及び、岡山市が実施するエクスカーションの支援を実施しました。ESDとは、Education for Sustainable Development(持続可能な開発のための教育)の略で、環境・社会・経済のバランスのとれた持続可能な社会を実現するための学びや教育のことです。

サイドイベントでは、国際会議が開催される「岡山コンベンションセンター」前の屋外広場において、ブースを苦田ダム管理所と共に出展し、世界各国の方に国土交通省で取り組むESDについて紹介しました。7日、8日共に好天に恵まれ、国内外からの多くの参加者が屋外広場に集まり、ブースを見学されました。職員もつたない英語で、一生懸命対応しました。9日(土)の最終日に開催されたエクスカーションでは、旭川上流(竹枝地区)で開催された「かいぼり調査」のエクスカーションにパネル展示等をすると共に、岡山市の支援等を実施しました。こちらも、世界各国の方々や、地元子ども達に、旭川の自然について理解を深めてもらえました。

ESDブース出展 岡山コンベンションセンター前屋外広場



会場の状況

旭川上流域「かいぼり調査」



かいぼり(生物)調査

かいぼり調査：  
干あげた川で、  
生きもの調査・  
河床調査を行い、  
環境保全や自然  
再生につなげる  
活動です。



国土交通省ブース・説明状況



パネル展示の状況